

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

長野県

【基本情報】

| | |
|---|--------------------------|
| フリガナ | シヤカイホクノジミヨマチシヤカイカクシヨウキカイ |
| 法人名 | 社会福祉法人御代田町社会福祉協議会 |
| フリガナ | ミヨタマチマホキョウカクキョウシヨ |
| 事業所名 | 御代田町やまゆり共同作業所 |
| 提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択） | |
| 就労継続支援B型 | |
| 職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】 | |
| 6.1人 | |
| ICT機器等導入完了日 | 令和 7年 2月 4日 |

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

| 業務内容 | ICT機器等の導入・活用状況 |
|---------------|---|
| 支援記録の作成 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 職員間の情報伝達・情報共有 | 部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている） |
| 請求業務 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 勤怠管理 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| シフト表作成 | ①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている） |
| 給与業務 | ③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている） |

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

| ICT機器等の種別 | 導入目的 | 製品名 | 台数 | 備考 |
|--------------------|---------|------------|----|----|
| ⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト | ①作業の迅速化 | ほのぼのソフトウェア | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
 - ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
 - ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
 - ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

| 業務内容 | 業務従事者数 | 発生件数 | | C. 1件当たりの平均処理時間 | 年間業務時間 D (B×C) | 1人あたり業務時間 (D/業務従事者数) | 備考 |
|------|--------|--------------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------------|----|
| | | A.ひと月当たり発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | | | | |
| 記録業務 | 9人 | 780件 | 9,360件 | 5分 | 780時間 | 87時間 | |
| 請求業務 | 2人 | 60件 | 720件 | 10分 | 120時間 | 60時間 | |
| 相談業務 | 2人 | 80件 | 960件 | 30分 | 480時間 | 240時間 | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | 920件 | 11,040件 | 45分 | 1,380時間 | #DIV/0! | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

記録業務に関しては月の利用延べ人数を参照、請求業務については請求人数を参照、相談業務については月の相談件数を参照しています。

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

1名の職員に対して、1週間の合計業務時間を算出して、×4週×9名の合計を月の件数で割った時間になります。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

| 業務内容 | 業務従事者数 | 発生件数 | | C. 1件当たりの平均処理時間 | 年間業務時間 D (B×C) | 1人あたり業務時間 (D/業務従事者数) | 備考 |
|------|--------|--------------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------------------|----|
| | | A.ひと月当たり発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | | | | |
| 記録業務 | 9人 | 780件 | 9,360件 | 4分 | 624時間 | 69時間 | |
| 請求業務 | 2人 | 60件 | 720件 | 8分 | 96時間 | 48時間 | |
| 相談業務 | 2人 | 80件 | 960件 | 26分 | 416時間 | 208時間 | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0件 | | 0時間 | #DIV/0! | |
| | | 920件 | 11,040件 | 38分 | 1,136時間 | #DIV/0! | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

記録業務に関しては月の利用延べ人数を参照、請求業務については請求人数を参照、相談業務については月の相談件数を参照しています。

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

1名の職員に対して、1週間の合計業務時間を算出して、×4週×9名の合計を月の件数で割った時間になります。

年間業務時間削減率 (%)

17.7%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

| 作成文書 | 作成文書量 | |
|------|----------|---------------------|
| | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | 0ページ | 0ページ |

④ ICT機器等導入後の作成文書量

| 作成文書 | 作成文書量 | |
|------|----------|---------------------|
| | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | | 0ページ |
| | 0ページ | 0ページ |

年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

事業所内にてICT導入にかかる検討会議を実施、紙媒体からICTへの意向の確認を行いました。その後、ICT導入の選定を行うために東京福祉機器展の視察し、2社に絞ってデモ等を実施を行いました。事業所全体で評価の高かったもののソフトウェアを選定し、導入時期等を購入会社と打ち合わせを行って、初期設定や職員への説明会を実施後に導入を行いました。最初の初期設定などにより通常の業務より労働時間が伸びたことで職員に不安がでてきたが、2、3か月すると慣れてきて通常の業務より短縮することができました。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

| 情報端末導入による効果 |
|---|
| <input type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 |
| <input type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。 |
| <input type="checkbox"/> 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 5 その他の効果があった。 |
| <input type="checkbox"/> 6 効果がなかった。 |

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

| |
|--|
| |
|--|

| ソフトウェア導入による効果 |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。 |
| <input type="checkbox"/> 6 その他の効果があった。 |
| <input type="checkbox"/> 7 効果がなかった。 |

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

| |
|--|
| |
|--|

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

就労支援B型事業及び生活介護事業において、日々の記録を手書きで行っており請求時にもう一度ソフトに入力する状況ですが、記録システム導入によりその場で記録を入力することが可能になる。また、請求システム導入により記録システムが自動的に連動するため請求時間の短縮を行いました。相談事業については、モニタリング時期をExcelに落とし込む作業を行っており、また、訪問時の内容を紙で記入をして事業所にもどってから再度Excelで記入を行っている。システムの導入によりモニタリング時期をお知らせしてくれる機能があり、また、その場で記録することができ、また記録した内容を計画に反映できるので、業務時間の短縮を行いました。結果として職員の事務作業の負担が削減されました。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

短縮できた時間については、通常の就労支援の生産物の取組に職員を充てる時間が増えたので、利用者に寄り添いながら支援を行うことができました。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

| | |
|-------------------|---|
| ICT機器等の導入による費用の縮減 | 無 |
|-------------------|---|

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

| 縮減額（円） | |
|------------------------|--|
| 職員の賃上げ等への充当 | |
| その他職場環境の改善への充当（※1） | |
| サービスの質の向上に係る取組への充当（※2） | |

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

| |
|--|
| |
|--|

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

| |
|--|
| |
|--|